

議会だより

吉富町



No.52

2 .2020



吉富駅にかかる虹(1/8)



新年挨拶の会(1/7)



定住自立圏形成協定調印式(1/17)

CONTENTS

定例議会報告	2	一般質問	8
常任委員会経過	5	議会報告会結果報告	13
議員提出案件	7	トピックス	14
議案審議結果表	7		



第4回定例議会報告

令和元年第4回定例町議会は、12月3日から19日までの17日間開催されました。

令和元年度吉富町一般会計補正予算（第6号）について

歳入歳出予算の追加 7,188万5千円

歳入歳出予算の総額 34億8,844万5千円



歳入の主なもの

分担金及び負担金（児童福祉費負担金） △1,332万3千円

国庫負担金（障害者福祉費負担金） 792万1千円

県負担金（障害者福祉費負担金） 396万円

前年度繰越金 6,610万8千円

歳出の主なもの

人事費（人事院勧告に伴う給与等の増額） 210万1千円

女子集客のまち推進イベント開催委託料（ガールズミーティング等） 1,012万円

障害児通所支援事業費 1,496万7千円

ふるさとセンター改修工事（雨漏り） 250万円

債務負担行為の補正（追加）

英会話ふれあい事業 910万円

<主な討論内容>

反対

岸本議員：女子集客のまちづくり事業を何とか成功、成果を求める熱意は認めますが、しかし、その方法は現実根拠に根ざすべきです。例えば服飾専門学校、高校の被服科の学生とコラボするのならわかるが、そういう土台的な現実を見出せないの、反対します。

賛成

矢岡議員：地方創生の事業において、消滅可能性都市に近づかないように、関係人口を増やし、東京の一極集中を是正してもらいたい。そういった効果も期待できますので、賛成します。

山本議員：町単独事業の英会話ふれあい事業の継続に、財源面の不安が残る。施設維持面での度重なる改修など費用と管理体制も危惧するが、変わる町への期待が各所にみられる。住民生活の向上をしていただくことを信じて、賛成します。

令和元年度吉富町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

歳入歳出予算の追加 5,199万4千円

歳入歳出予算の総額 8億2,538万9千円



歳出の主なもの

保険給付費 4,065万5千円

<討論なし>

令和元年度吉富町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算の減額 83万8千円

歳入歳出予算の総額 1億1,115万7千円



<討論なし>

令和元年度吉富町水道事業会計補正予算（第3号）について

補正予算の主なもの

収益的支出

第3配水池（天仲寺公園にある貯水塔）町名設置工事費 145万円



<賛成討論 山本議員、梅津議員、向野議員>

予

算

予算

令和元年度吉富町下水道事業会計補正予算（第3号）について 補正予算の主なもの

収益的支出
人件費等

74万3千円

<討論なし>



条例

吉富町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

地方公務員法等法律の改正による、会計年度任用職員制度の創設に伴い、当該職員に対する給与及び費用弁償に関する事項を定めるための条例の制定。

<賛成討論 山本議員>



地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

前議案同様の理由による、関係条例の一部改正。

<賛成討論 山本議員>



吉富町課制条例の制定について

新たな行政課題に総合的かつ機動的に対応し、住民の方に対して、親切でよりきめ細やかなサービスの提供ができる組織を編成するための条例の全部改正。

<主な討論内容>



反対

岸本議員：職員の熱意には敬意を表します。しかしこの案には、「住民の意見が聞かれてない。」「限られた職員数の中では、分割より統合のほうが住民サービスにつながる。」「税務課長と会計管理者の兼任はすべきではない。」「自治会長をどの課が担当するのか決まっていない段階での提案。」以上4点に疑問があり、再提案を求め反対します。

梅津議員：この間の説明で、職員の方の熱意には敬意をはらうところですが、課制変更について、町民の皆さんにオープンにし、広く意見を聴取してからでも遅くないのではとの考えから、反対します。

太田議員：職員は増えることなく、税収も厳しい中、課長職が一つ増えるということは、その分支出もともない増えてきます。人口減少の中、どこの自治体も節約をし、基金を貯め健全化を図る努力をしています。色々と問題点がある中での課制条例の制定は、時期尚早だと思い、反対します。

賛成

矢岡議員：エス・ディー・ジーズ（SDGs）や地方創生の次の段階を考察すると、関係人口の創出拡大。また、監査の観点から、来年度から内部統制の必要性が出てきます。そういった観点から行政は重きものを求められている。そのタイミングでの課制の変更に賛成します。

山本議員：住民サービスに対して、問題が生じないように進めていただき、起きえる事案への対処を再確認して、住民サービスへ支障がなきように。また、経費の肥大化をまねかぬよう念押しして、賛成します。

横川議員：この課制条例には、今まで懸念された工事検査の方法の改善。また、職員の業務量均一化が図れると思います。それが、住民サービスの向上や職場の改善にもなると思い、賛成します。

吉富町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図るため、総務省通知の一部が改正されたことに伴う、条例の一部改正。

<討論なし>



条

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
人事院勧告に基づき、これを実施するため、一般職の職員の給与改定を行うもの。
＜賛成討論 矢岡議員＞



単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
一般職の職員に準じて、給与改定を行うもの。
＜討論なし＞



例

吉富町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
水道法の一部改正により、指定給水装置工事事業者の指定更新制度の創設に伴い、本条例の一部を改正するもの。
＜討論なし＞



協

中津市との間において定住自立圏形成協定を締結することについて
中津市を中心とする定住自立圏の形成に関する協定を締結するにあたり、議会の議決を求めるもの。
＜主な討論内容＞



反対

太田議員：近隣の市町といがみあう必要もなく連携を強化することは、大切なことだと思うが、コミュニティバスに関しては、市民病院、並びにゆめタウンを利用したい方々がどのくらいいるのか、アンケート調査もしていない。このような状況下で税金を投入し、コミュニティバスを吉富町に停めることは、現段階では賛成できません。

賛成

岸本議員：定住自立圏は、中津市と吉富町が対等平等ではないという問題点があります。周防灘湾岸線道路については、磯浜の自然破壊につながるという声もあり、その促進整備に住民の合意を得られていません。一方で、豊前市と中津市民病院を結ぶコミュニティバスへの要求は大きく、町民の利益に寄与するものと考え、問題点を指摘し、賛成します。

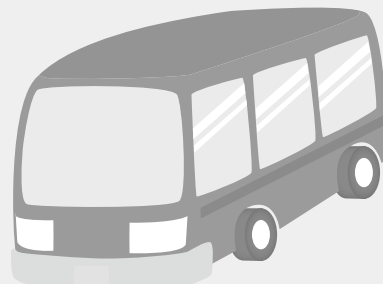
山本議員：当協定の目玉である中津豊前コミュニティバスの町内の停車。開始後の利用者の意見は勿論であるが、住民の多方面からの意見の聴取などをして、改善していただけることを要望する。また、当協定が町の発展、住民生活の向上に寄与するものと信じ、賛成します。

梅津議員：地域全体の発展なくして、一町の発展はありえないと強く思います。また圏内には2020年には映画館が開設される予定です。圏内にレジャー部門ができる等のことを通じ、この地域全体がこの協定を利用しながら、発展することを願い賛成します。

横川議員：この協定の生活機能の強化の中に、勤労者福利厚生対策があります。これは、これに加入することで、町内の業者が福利厚生の色々なサービスを受けられますので、賛成します。

向野議員：2025年には高齢化が急速に進み医療・介護・社会保障と様々な課題が出てきます。今協定を締結することにより、本町だけでは難しい問題も広域連携を含め、課題解決につながると考えられ、賛成します。

※定住自立圏の内容については、P.12下部参照



5

予算決算委員会経過 つづき

りますが、通学路の見直しというところまでは上がってはいません。

質疑 山本委員

吉富町ふるさとセンター改修工事費は、雨漏りが発見されたことだが、平成6年に造られてから二十数年経っている。点検はしていなかったのですか。

答弁 産業建設課長

6年に完成してから以降、職員も施設の点検はしていましたが、陸屋根部分まで上がってという点検はしていませんでした。職員ができる範囲での防水の手当はしていました。

質疑 岸本委員

フォーユー会館の図書室の漫画が除去されたのは、予算の関係からですか。漫画から学ぶことも多いと思うが、漫画の必要性をどう考えますか。

答弁 教務課長

定期的に購入する漫画は、今は購入をしていません。図書司書とも協議し、ほかのもので充実をというところで、今回整理をさせていただきました。子供は漫画が好きだし、活字だけよりもっと学ぶこともあるとは思っています。

質疑 山本委員

敬老会の司会をノースFMの人をお願いし、大変好評でした。成人式もそこをお願いする予定ですか。

答弁 教務課長

敬老会のときと同様で、今回も司会の方をお願いして、インタビューなり、その場に応じた形でお祝いをしたいと考えています。

意見 岸本委員

女子集客のまちづくりは、町の現実に根ざしたものとは思

えず疑問をもってきました。効果を求める熱意は認めますが、方法は見直すべき。ガールズミーティングについては、町の服飾専門学校と学生さんとコラボするというのならわかります。集客、物が売れることは期待できる。しかし、1,000万円を掛けることには、賛成しかねます。

意見 矢岡委員

まち・ひと・しごと創生事業は、待ったなしです。5年前、増田レポートでは、25年後、20代、30代の女性が当時よりも半減する。消滅可能性都市という衝撃的な言葉が出ました。そうならないように、努力していく。また、東京の一極集中を是正するべく、交流人口、関係人口を増やしていく。その観点でまさに方向性が正しい事業だと認識しており、賛成します。

意見 向野委員

女子集客のまちイベントは、金額は大きいですが、地方で本物を見せる。また、子どもたちに夢をもたせる意味でもぜひ成功していただきたい。町内の方たちにも参加してもらうようなイベントになればと思い、賛成します。

意見 横川委員

定住自立圏協定をうまく生かして、集客のまちのイベントを核として、近隣自治体と一緒にさせて発展させていければと思い、賛成します。

意見 是石委員

定住自立圏構想に足を踏み入れる。新しいイベントをもってきて、集客の結果を出したいという思いがこの予算の中に入っています。そういう意味で、賛成します。

議員提出案件 発議等

吉富町議会政務活動費の交付に関する条例の制定について 可決

政務活動費の支給時期を前払い制から年度末の後払い制にすること、加えて政務活動費の交付金額を、月額20,000円から15,000円にする等のため、条例を全部改正するもの。
＜賛成討論 山本議員＞

地方創生の実現に向けた山国川の渡架橋及びそれに繋がる道路の早期整備を 求める決議について 可決

吉富町議会並びに中津市議会が共に、一級河川山国川最下流の渡架橋の早期実現に向けて道路計画策定と工事着手を、両市町で連携し、福岡県、大分県等に対し、要望活動を行うべく、決議案の上程をするもの。
＜討論なし＞

令和元年（12月定例会）議案審議結果

◎議決日：令和元年12月定例会（6日、19日）（採決が分かれた議案の採決結果）

「○」…賛成 「●」…反対
「議長」…議長職のため表決に参加しない。可否同数の場合、議長が裁決する
「-」…当日、欠席等により表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	角畑正数	向野倍吉	中家章智	矢岡匡	山本定生	太田文則	梅津義信	岸本加代子	横川清一	是石利彦	賛成	反対
議案第57号	吉富町課制条例の制定について	可決	●	○	○	○	○	●	●	●	○	議長	5	4
議案第62号	令和元年度吉富町一般会計補正予算(第6号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議長	8	1
議案第67号	中津市との間において定住自立圏形成協定を締結することについて	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	議長	8	1

一般質問



向野 倍吉 議員

公共下水道事業全般について

問 当初の計画では平成24年に完成予定でしたが、現在では令和17年になっています。なぜ当初計画より大幅に遅れたのか、理由をお伺いしたいです。

答 上下水道課長
全体計画が当初の192ヘクタールから233ヘクタールへと41ヘクタール増加し、1.2倍になったこと、それと当初計画時に工事の進捗率を高く見込み過ぎていたことが原因だったと検証しています。具体的には、想定以上に土質の影響や、周辺町民の方々の迂回路等、通行確保のために工事区域が制限されたこと。もう一つは、老朽水道管の布設替えを同時に施工すること等により、大幅に工期が延伸されたものと判断しています。

問 少しでも遅れを取り戻すために、どのような対策を考えていますか。

答 上下水道課長
町の行政改革実施計画及び下水道の経営戦略等にて、令和17年度の完成に向けて、毎年7ヘクタールを確実に整備していけば達成できると設定いたしています。それに沿い、毎年事業終了後、点検と検証を行いながら、確実な進捗を図るのが一番の近道だと考えています。

問 効率のよい下水道方式、特に時代のニーズに対応した経費削減対策を考えていますか？

答 上下水道課長
本町では、町全域が都市計画区域であること、

面積が狭く効率的であることなどから、町域の大部分は、公共下水道事業として、国の補助を受け、整備を行っております。また、集落から離れた飛び地的な地域につきましては、管路を延ばしていくことが非効率であるため、合併処理浄化槽設置の補助制度を設け、整備を進めてきています。

問 コスト削減の一つとして、下水道使用料の滞納防止策や受益者負担金の早期徴収、全納報奨金制度、それと改修費用の斡旋制度など考えていますか。

答 上下水道課長
今現在は下水道への早期接続を推進しており、供用開始から1年以内に接続した方につきましては4万円の助成、2年以内につきましては2万円の助成、3年以内ですと1万円の助成という制度を設けております。かなりの方がこれを活用しています。また、合併浄化槽から公共下水道に切りかえる場合につきましても、ある一定の条件に合いますと上限32万円ほどの補助制度も整備をしています。今後は、特別に経費のかかるような宅地の構造の方につきましても、新たな助成制度を検討しているところです。

問 現在の水洗化率のさらなる向上を目指す必要があり、現在どのような稼働率の推移で運営されているのか、終末処理場の供用開始以来、水洗化率の推移を説明願います。

答 上下水道課長
平成16年度から現在まで延べ1,736戸で毎年平均109戸を整備しています。水洗化率は、平成20年度末38.8%、平成25年末45.3%、平成27年度末47.6%となり、その後は50%前後を横ばいできています。クリーンセンターにつきましては、1日2,000トンの処理能力があり、現在は1日約800トン进行处理して、稼働率は40%となっています。



山本 定生 議員

災害避難時（訓練含む）の戸別防災無線の活用について

問 避難行動時に、戸別防災無線の携行をして訓練を実施してはどうか。防災時には、防風雨によって野外スピーカーが聞こえない。避難行動時に町の状況が逐一わかるのでは。

答 総務課長
戸別受信機を避難行動時に持ち出すこと自体は可能です。停電時にも使用できるよう電池が入っています。一時避難所である各地区公民館に戸別受信機を設置させていただいていますので携行していただくことも可能ですが、結構大きなものであり、持っていくのがどうなのかとも思います。そういったときは、屋

外スピーカーで聞こえるように大きな声で流しますので、その辺はそういったものを活用していただければと思っています。

問 訓練の途中でガイダンスを入れて、途中で「皆さん足元に気をつけてください」とか、「危ない箇所があったら教えてください」など、直接呼びかけすれば、防災訓練も楽しくできると思います。今、垂直避難というのでも推奨しています。例えば防災訓練に出られない方でも、「消防団の方を見たら窓から手を振ってください。」とか一言言ってあげれば、その人も訓練に参加したという気持ちにもなりますし、消防団の方も、「あそこの誰々さんが手を振ってくれた。」とわかるのではないですか。

答 総務課長
今でも「屋外で何回も放送するのはどうなんだ。」というような電話が入ってきます。それを全家庭に流すのは、いいとは思いますが、どうなのかと今は思っています。

山本議員つづき

問 防災無線の貸し出し状況の把握、各戸の設置状況は、どうなっていますか。町としての条例化みたいな形で、義務化はできないのですか。

答 総務課長
管理台帳をデータ及び紙ベースで作成し、貸し出しや返還、辞退などの状況を管理しています。現在、約2,600軒に貸与していますが、約400軒の方が辞退をしています。転入、転出、転居など、貸与者の状況に変化があった場合には、管理台帳の更新を行っています。災害時における避難勧告や避難指示等の伝達手段としての重要性を説明し、極力設置していただくように、住民の方への対応をしています。それでも設置を辞退さ

れた方については、たとえ受信機を持ち帰っていただいたとしても、実際に設置するのか、また、電源を切りっぱなしにしていることも考えられますので、義務化をしても、大きな効果は見込めないものだと考えています。

意 近年、多くの災害が起きております。自然が相手であり、予測は困難をきわめるものではありませんが、危機管理対策を万全に期していただいて、安心安全な町であり続けることと信じています。

※他に「創業促進支援（新規出店）事業助成金の交付について」、「駅前チャレンジショップの期間と開業後について」の質問をしています。



矢岡 匡 議員

小学校の正門横の横断幕に掲げるキャリア教育について

問 「社会のつくり手を育むキャリア教育」と掲げられているが、キャリア教育というのは一体どういう教育で、どのように取り組むのですか。

答 教育長
キャリア教育とは、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のことです。職業体験などの体験も大切にしつつ、教科等の授業の中でキャリア教育の視点を明確にした授業づくりをしていくことになります。授業において、自分で目標を見つけること、目標の達成に向け何がいいかを考え自分で決定できること、自分のよさを生かしつつ他者とかかわりながら問題を解決していくことができること、自分のやったことを振り返り、それを次の問題解決に生かすことなどを大切にしていきます。

問 思い返してみますと、いじめ、不登校連絡協議会・コミュニティスクールも、近隣よりも一歩早く始まっていたと覚えております。キャリア教育につきまして、近隣に比べ早い取り組みだろうと認識しています。こういった前向きな取り組みを早目にやっているということは、評価すべき思っています。もう一つ、キャリア教育は効果として何を狙うものなのですか。

答 教育長
キャリア形成ために必要な力を基礎的・汎用的能力と言います。具体的には、①人間関係形成・社会形成能力②自己理解・自己管理能力③課題対応能力④キャリアプランニング能力のことです。これらを育てることがねらいです。そのために学校では次のことに取り組みます。一つ目は、小学校と中学校の「基礎的・汎用的能力」の系統を踏まえたカリキュラムの作

成です。二つ目は、キャリア教育の視点を明確にした授業づくりです。三つ目は、小学校、中学校で、キャリアパスポートを開発することです。こうした研究が、将来的に社会とのかかわりの中で、自分の力を発揮し、よりよい社会を創っていく吉富の担い手を育てることにつながると考えます。

社会や教育などへ多大な影響が予測される「持続可能な開発目標」について

問 今や社会、国や企業、教育の世界もこの持続可能な開発目標に取り組んでいます。多大な影響が予測されるのだろうと捉えています。この七ヶ月の間、当吉富町議会において、この文言を聞くことがなかったことは少し心配になります。地方自治体としてアプローチ（接近）していくこと、備えを盤石にしておくことが大事ではないですか。

答 企画財政課長
SDGsにつきましては、2015年の国連サミットで採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17項目の国際目標です。日本では、「持続可能な開発目標」という表現が用いられることも多く、含まれる項目も多岐にわたっています。行政はもちろん、企業や教育機関、関係団体などが行う全ての事業や活動に関連するものであり、その組織そのものだけではなく、私たち個人一人一人に課せられた目標と捉えることもできます。地方自治体にとってもSDGsの理念を十分理解し、組織としての取り組み、事業においても、この目標を踏まえて実施していくことが必要です。花畑町長は、早くからこの取り組みの重要性に理解を示され、本町の施策に絡めていくようにとの指示があっていると伺っています。



一般質問



岸本加代子 議員

AEDの活用について

問 AED（自動体外式除細動器）の使用とあわせて心臓マッサージ、人工呼吸を行うことは救命の可能性を数段大きくすることができる。そのためにはAEDが距離的に近くに設置されていることが必要である。各地区に設置し、町が費用を補助できないか。

答 総務課長

AEDは、救急車が来るまでの間に、その場所に居合わせた人が使用することにより効果がある装置であり、その設置は、公共施設など多く人が集まる場所が適切であり、各地区設置が費用対効果の点からどうなのか考え、現在検討していません。

問 町内には公共施設以外にAEDを設置している病院、事業所などがある。協力を得てマップを作ったらどうか。また、必要時、躊躇なくだれでもAEDを使用するためには多くの触れる機会が必要だ。例えば各地区の集会など、町としても奨励してもらいたい。

答 総務課長

公共施設以外のAEDマップについては、数年前に健康福祉課が設置しており、担当課とも話をしたい。講習会についても消防本部とも相談し、自治会にも投げかけたいと思います。



公営住宅管理条例の改正について

問 国交省は民法の一部改正、単身高齢者の増加等状況の変化などの理由により、公営住宅管理条例の見直しを求め「案」を送付した。その内容に「連帯保証人に関する規定の削除」「同居親族の規定の削除」「税の滞納に関する規定の削除」がある。本町では今後どのように対応するのか。

答 健康福祉課長

高齢化社会を迎えている現在、連帯保証人については、その役割は増してくると想定され引き続き求めていきたい。同居親族に関する入居者資格については、今後検討したい。税の滞納については、使用料の発生及び支払い能力の確認の意味もあり、規定は現行どおりとしたいです。

生涯学習教室事業について

問 教室の開講、閉講はどのようにして決めるのか。

答 教務課長

年度末に（受講者から）「同じようなものあるいは違うものをしてほしい」というようなアンケートをとり、それをもとに募集をかける。その結果定員の半数以上の申し込みがあれば開講、2、3名という状況では開講しない。申込者に対してはその旨を説明している。また、講師が見つからず閉講したこともある。

問 町が重視している事業との関連性についてはどう考えるか。（例えば英会話教室）

答 教務課長

関連性は当然考えている。就学前、小学校で英会話ふれあい事業をやっており、大人の方にも提供できればと、今年度も1日教室での英会話講座を検討はしたが、形、内容など考え来年以降開催できればと考えています。

※他に佐井川の安全性について質問しました。



中家 章智 議員

公営企業上水道事業全般について

問 天仲寺山に第三配水池が平成31年2月に完成され、低水圧地域の水圧の低下が解消されました。それを踏まえて、有収率の向上対策についてお尋ねします。

答 上下水道課長

有収率とは、有収水量の年間の配水量に対する割合であり数値が高いほど収益となった水量が多く、効率的な事業運営であることを示す指標です。本町は、大規模漏

水が発生しました平成28年度の91.4%を除くと、大体94%から95%をずっと推移してきている状況で直近の30年度で94.52%と、全国平均の81%に比べ高いレベルを維持しています。この有収率を維持するため、漏水には特に注意をいたしており、毎朝配水池の推移のグラフにて、増量等がないかの変動について慎重に確認をしています。また漏水の発見には、町民の方からの報告を受けての調査、職員が日々注意をしての調査の他、専門の業者に地中の深い漏水を探していただくというような方法があります。基本的には職員による調査を主としますが、職員で見つけられないようなときには、業者さんへの委託も視野に入れ、今後取り組んでいきます。

問 コスト削減対策についてお尋ねします。

中家議員つづき

答 上下水道課長

本町では、水道管の布設替えを、下水道工事にあわせて、随時実施をしてきており、それにより土工一式、舗装工事の復旧の一式が、ほぼゼロ円で行っており、大幅なコスト縮減が図られています。水道管を入れる深さについても、最も基準を満たす浅い深さ、70センチほどで水道管を布設していくというようなことも取り組んでおります。さらに水道管の選定など、細かいところまでコスト意識を持って取り組んでいます。

問 取水井の安全対策についてお尋ねします。

答 上下水道課長

過去数度山国川の増水によりまして、井戸周辺が完全に水没するというような状況になっております。井戸の構造は直径6m、深さ13.5mで地盤から1m突き

出ており、ふたのある密閉式の構造で水が直接入っていく可能性があるのは、その井戸上部の2つの空気抜きの筒からですが、先輩職員の方々がさらに1.6mかさ上げをしており、過去最高よりも1.6m水位が上がったとしても直接井戸に山国川の流水が入ることが無い形に改良しています。現在は、そういった改良にあわせ天仲寺山の山頂の第3配水池を更新し、以前の、貯水量489トンから1,200トンへ増量し、京築地区水道企業団からも毎日650トンの給水を受けていますが、緊急時には1,200トンまで現在の管路で送ってこれるということ。さらに別府の浄水場等の機能をフル稼働することにより、もし万が一災害が起きて、水位が上がって、濁度が上がったとしても、その濁度が落ち着くまでの間、過去では1日ほどだったのですが、現在は、その数倍の日数についても、断水なく対応できると考えています。



梅津 義信 議員

花畑町政を問う！

問 町民アンケート等で給食費の単費による補助、定住自立圏締結、課制変更について、民意の確認はされましたか。

答 企画財政課長

後期の基本計画を策定するに当たりましては、町民アンケートを実施しています。その中に、給食費の助成についてとか、定住自立圏、さらなる行政の連携についての希望とか住民の要望としてありました。それを踏まえての事業実施になっています。

問 財政支出が大変増えていることについてどのようにお考えですか。

答 町長

小銭の大切さを踏まえて、より費用対効果のあるものにしていきたいと思っています。そして、マニフェストでお約束したことを、確実に一つずつ実現させていきたいと考えております。

問 財政の強靱化についてどのようにお考えですか。

答 企画財政課長

今後の行財政状況を展望したときに、長期にわたる地域経済の低迷、就労人口の減少などによる収入の減少、それから少子高齢化社会の進展による社会保障費の増加に加えまして、公共施設や道路・橋梁などの老朽化による大規模改修費用など、多額の財源が必要になることが見込まれ、これに対応し得る財政力を備えていかなければならないと思っています。限られた財源の中で多様化する住民ニーズに的確かつ迅速に対応し、町民満足度を高めるためには持続的な行財政経営の構築が不可欠です。その実現には、目先の削減

や行政内部だけで実施するのではなく、町民・議会・行政がそれぞれの関係性を再認識しながら取り組む必要があると考えています。ただ、それには時間をかけた丁寧な説明が重要になってくると思われます。持続可能な行財政運営を展開するために、限られた資源を最大限に活用することで、今後の予算編成の中に組み入れていきたいと思っています。

答 町長

次年度は、ふるさと納税にはきっちりと力を入れてまいらなければいけない、また企業版ふるさと納税も考えていかなければいけないと考えています。またネーミングライツということもあります。例えば吉富町のフォーユー会館、体育館に、私たちの町にもそういうことができれば、金額的には少ないかもしれませんが、何らかのお役に、住民の幸せにつながるができるんじゃないかなと考えています。私たちの町は、財政力指数、実質公債費率は県内では平均よりずっと劣っています。これを力強く本来あるべき位置に戻すためにも、そういう施策が必要ではないかなと考えています。



意 健全な財政なくして町の未来はありません。吉富町単独の町政継続が困難にならないような財政運営を要望します。

※その他「子ども会活動について、存在意義、応援する取り組み等」の質問をしました。

一般質問



太田 文則 議員

災害時の備蓄について

問 避難所に布団・毛布・何組備えていますか？

答 総務課長
現在毛布500枚備蓄しています。布団は備蓄していません。体育館は床が硬くて冷たい状況を軽減の為にアルミマット200枚備蓄しています。

問 敷き布団・夏布団の備蓄は考えていますか？

答 総務課長
地震などが冬場でも起こりえるので、冬場に対応した布団の備蓄を検討したいと考えています。

問 簡易ベッドは何セット備蓄していますか？

答 総務課長
2.5畳四方で、厚さ3センチで30個の間仕切のセットを備蓄しています。

問 今後簡易ベッドの備蓄は考えていますか？

答 総務課長
簡易ベッドに関しては今後、検討していきたいと思っています。

問 冷暖房機器の備蓄は何台ありますか？

答 総務課長
体育館に避難したときの冷暖房機器の備蓄はありません。フォーユー会館・子育て支援センター等々の避難所を活用したいと考えています。

問 スポットクーラーとか、遠赤外線、カイロ等の備蓄についてどう考えていますか？

答 総務課長
スポットクーラーの金額を調べて検討したいと思っています。カイロも十分暖が取れるので、検討していく必要があると思います。

問 液体ミルクの備蓄についてどのように考えていますか？

答 総務課長
粉ミルク32缶、そのうち2缶はミルクアレルゲン対応できるものを備蓄しています。液体ミルクに関しては価格も高いので、一部を液体ミルクにすることも今後検討したいと思っています。

災害に強い街づくりについて

問 ハザードマップの更新時期は？

答 総務課長
平成26年に防災パンフレットと、ハザードマップを全戸に配布。津波ハザードマップは平成29年3月に全戸に配布しました。高潮洪水想定が令和2年1月に公表される予定です。令和2年度にハザードマップを更新したいと考えています。

問 山国川・佐井川の越水のシミュレーションはしましたか？

答 総務課長
いずれの河川においては越水のシミュレーションを国・県でそれぞれ行っています。浸水想定区域につきましては、来年度のハザードマップでお知らせしたいと思っています。

問 仮設住宅の設置場所は。

答 総務課長
玄光院・太町グラウンドの2か所を計画していますが、地震・水害等の状況で設置場所を最終検討し、仮設住宅を設置することにしています。

問 山国川・佐井川の堤防強度測定はいつ頃実施したのか、実施していなければいつごろ実施するのですか？

答 産業建設課長
佐井川については、浸透調査を昨年2か所実施し結果は、県のほうから報告は受けていないが、連絡あり次第報告します。山国川については、本町内の堤防について、対策を必要とする区間はないということです。

※九州周防灘地域定住自立圏は、主に次のことを行うためのものです

コミュニティバス運行事業……生活圏が一致する本圏域の中で県境を超えている豊前市と中津市民病院を結ぶ豊前中津線コミュニティバスを豊前市と中津市の共同で運行する。

小児救急センター支援事業……小児救急医療体制の確保を目指し、圏域の中核病院（中津市民病院）に併設する小児救急センターの365日体制維持のための運営費を圏域自治体で負担する。

勤労者福祉サービスセンター運営事業…圏域の中小企業従事者に対する共済金の給付や余暇活動など福利厚生面を充実させることで、雇用環境の改善、ひいては地元就職希望者の増加に資するため、(助)大分県北部勤労者福祉サービスセンターに対し運営費を助成する。

広域観光パンフレット作成等事業……広域的な観光資源の連携による観光振興及び交流人口の拡大を図るため、圏域各所にある観光地に案内看板やパンフレットを設置するなど相互に情報を共有・発信する。

議会報告会(第6回)報告



本町議会では、昨年11月17日、20日、吉富フォーユー会館において、「議会の説明責任、住民の方との対話を通じた信頼関係の構築、それぞれの地域が抱える課題の聴取など町民の皆さんのご意見をいただくこと」により、今後の議会活動に生かし、また、議会運営の改善を図ることを目的として議会報告会を開催し、34名の方にご参加いただきました。

今回の議会報告会ではまず、議会からの報告（議会の開催状況、一部事務組合報告、政務活動報告）の後、意見交換、自由発言（意見聴取）に対する応答を行いました。

テーマに沿った質問(意見)とその応答

テーマ「吉富町のまちづくり」

Q 町の議会での議員の表情、声、雰囲気は動画（ネット配信）でしたら、伝わり方が全然違うと思うし、いつでもアクセスすれば、議会の状況が説明なしに伝わると思います。ぜひ、予算があれば、他の無駄を省いてしてもらいたい。

A 山本議員：他の議会でも結構していますが、導入するとなると、すごくお金が掛かりますし（検討時2千万円程度掛かるといわれていた。）、内容の確認には時間が掛かります。議会のために多くの予算を掛けて良いものなのかなど、8年間議論しています。ビデオには記録として収めていますので、興味がある方はそれを見てくださいますと、ネット配信については、再度検討してみたいと思います。

Q 最近天候不順が立て続けに起こっているが、幸い吉富町は難を逃れている。想定外の大雨による、山国川、佐井川等々の河川の氾濫や越水等による内水への流れ込み、堤防の内面の損壊による洪水が心配です。治山治水をどのように考えていますか。

A 是石議長：吉富町は、内水面の雨水対策が一番主になります。黒川の排水機場に、排水設備が2基、国からの指導でため池の災害対策の計画も立てるようになっており、各所にある小型動力ポンプが役目を果たしており、堰の管理もしっかりしています。

Q AED（除細動器）を各自治会に適切な位置を定めて、一台ずつ置いてもらうことはできないか。頻繁に講習会も開いてもらい、誰でもいつでも使えるようにしてもらいたい。設置費の一部負担や合鍵の作製などをして、設置できるようにしてもらいたい。

A 山本議員：誰かがカギを開けなければならないなど、自治会長さんの負担が増えること。1台当たり、30～40万円するし、バッテリーの交換もあるので、かなりの予算も必要となる。それよりも、今あるところを活用してもらいたいというのが町の回答でした。

※12月議会定例会一般質問にて、同様の質問をした議員あり（詳しくは、今回の「議会だより」10ページの記事をご覧ください。）

【その他の質問・意見】

- ・豊前市では役場内手続きを一か所で行えるような、ワンストップサービスをしている。吉富町でもできるよう、議会からお願いしてもらいたい。
- ・私は、子どもの見守り活動をしているが、他の地区の活動状況を教えてもらいたい。
- ・公民館のトイレを下水道に繋ぎ込むのに費用が掛かる。助成制度はないのか。
- ・高齢者が介護施設に入らなくてすむ町づくりを大いに進めてもらいたい。
- ・町には狭い道路があり、緊急車両が入れるような、家が建てやすいような道路確保ができるような町づくりをしてもらいたい。
- ・地域おこし協力隊の成果。今後はどうするのか。
- ・高齢者等買い物支援事業は、利用者が少ないとやめるのか。
- ・企業版ふるさと納税を考えてもらいたい。議会で特別委員会などを立ち上げて、議会から執行部へ提案もできると思うので取り組んでももらいたい。
- ・中学校に学校司書は、なぜいないのですか。中学生も住民、恩恵を受けてないように思え、教育の根幹にかかわることをしっかり考えてもらいたい。
- ・子ども会がどんどん消滅してきている。子ども会で子どもの絆をつくる必要がある。議会では、どのように子供を育てていこうと思っていますか。議員さんが、自らの地域で子供を育てるために、どれくらいしていますか。（子供の意見を聞く場、子供が自由に遊べる環境をつくっているか。）キッズクラブが充実した分、子ども会に入る必要がなくなった。
- ・子供たちが自由に過ごせる場（受け皿）がない。ミニ文庫をつくることは、いかがでしょうか。

- ・豊前市のごみ焼却場は改修工事をしなくて良いのですか。
- ・吉富町の魅力は何ですか。他の自治体に比べると、農業・漁業体験やワークショップなどが無い。去年もこの場で言ったが、議題に上っていない。どうなっているのですか。
- ・駅前マルシェには、幾ら位予算を掛けてしているのですか。
- ・防災行政無線の設置状況を自治会長に知らせても良いように、議会で決める必要があるとすれば、そう決めてもらいたい。

いように、議会で決める必要があるとすれば、そう決めてもらいたい。

・防災行政無線を付けてない住民がいる。ぜひ付けてもらう方向でちゃんとした説明をしてもらうよう、執行部に言ってもらいたい。

※12月議会定例会一般質問にて、同様の質問をした議員あり（詳しくは、今回の「議会だより」8、9ページの記事をご覧ください。）

- ・吉富中学校に職員を増やしてもらいたい。

【事前に提出のあった質問・意見】

- ・議員の役割とは？今一度立ち返って!!議員とは、町民の負託を受け町民の代弁者だが、本当に町民のことを聞き？町政や議会に届けているか？疑問に思うこと多々あり。※議員活動が今一つどう活動しているかが解らない。
- ・駅前事業、特に「マルシェ」は、税金の垂れ流し。ただ回数を消化するだけ。出店者や企画もありきたり、「吉富オリジナル」なら賛成だが、今のところ

創意工夫は感じられず。再考を。

- ・吉富漁港の有効活用を！イベント、マルシェ、朝市など。
- ・特産品の開発を。
- ・山国川の堤防道路に夜間運転中路肩がわかる様に5m位の間隔で、反射板（器）を付けてほしい。
- ・漁村センターの手入れが悪く、いつも雑草が生えている。常時雑草を刈ってもらいたい。

※掲載内容には、皆さんによりわかりやすいように、当日の多くの方の質疑・応答の中から、抜粋、結合等を行って作成したものもあります。

アンケート結果

今回、議会報告会を実施するにあたり、アンケート調査を行い来年度以降も参加したいかの設問を設けました。その結果は次のとおりです。

回答者（31/34）	参加したい	24名（約78%）
	（※内、2年に一度参加したい	2名）
	参加したくない	1名（約 3%）
	どちらともいえない	5名（約 16%）
	無回答	1名（約 3%）



その他たくさんのご意見・ご質問等をいただきました。そのご意見等は、本町における課題として、また議員の共通認識としてしっかりと受け止めさせていただき、今後、議員全員で話し合っていきたいと思っています。開催するにあたりご協力いただきました自治会長さんをはじめ、関係の方々に御礼申し上げますとともに、この議会報告会を継続実施させていただけるよう、議会としても工夫をしていきたいと思います。

※ なお、この議会報告会の会議内容を閲覧いただけるよう準備も進めています。

上水道施設視察研修報告

去る1月7日、本町議会議員は、生命の源である水道水の供給関連施設2か所の施設見学並びに上下水道課職員による施設の説明を受けました。

◎幸子浄水場

町のほぼ最南端、山国川のすぐ隣に位置し、取水、ろ過等を施した後、天仲寺公園にある第2・3配水池へ送水している施設です。

- ・総事業費 約5億7,293万円
- ・事業年度 平成元年度～6年度
- ・浄水処理能力1,700m³/日

◎第3配水池

天仲寺公園北側山頂に位置し、幸子浄水場、京築地区水道企業団から一旦貯水の後、各家庭等へ配水をしている施設です。

- ・総事業費 約6億4,354万円
- ・事業年度 平成24年度～30年度
- ・浄水処理能力1,200m³（2塔合計）

※今回の視察研修・説明を聞く中で、我々が普段何気なく口にしている水も、多くの手間と水質の安全が保たれてこそのものだと実感しました。



吉富町幸子浄水場

次回予告

次の定例会の開催は、3月になります。請願、陳情等がありましたら、2月末日までに議会事務局に提出してください。

議会事務局